

伏見力で考えよう！！

『我らが新伏見区総合庁舎』ワークショップ通信

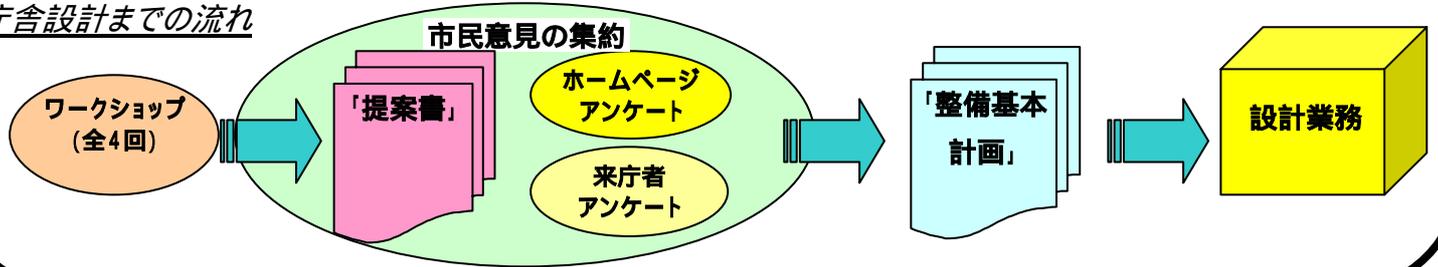
第1号 平成16年12月7日発行

ワークショップの開催趣旨

現在、京都市では、伏見区内で分散立地している区役所、福祉事務所、保健所を統合し、伏見青少年活動センターを併設した総合庁舎の平成18年度着工、平成20年度の開設を目指し、整備基本計画策定に取り組んでいます。

そこで、誰にでも親しみやすく、利用しやすい、地域活動活性化の拠点となる総合庁舎とするため、来庁者アンケート、伏見区ホームページ(<http://www.city.kyoto.jp/fushimi/>)でのアンケート、ワークショップにより市民意見の集約に努めています。特にワークショップは、市民の皆さんと行政が協働作業により意見を出し合う場として実施しています。ワークショップで取りまとめられた市民意見は、「市民が考える望ましい伏見区総合庁舎提案書」として、来庁者アンケートやホームページへのご意見とともに現在検討中の「伏見区総合庁舎基本計画」に活かしていきます。

庁舎設計までの流れ



ワークショップスケジュール(全4回開催)

第1回 「ワークショップ立ち上げ・
伏見らしさってなんだろう？」
平成16年11月27日(土)
14:00~ 於 伏見区役所

実施
済み

第2回 「今の区役所ここがよい・
ここが気になる」
平成16年12月12日(日)
14:00~16:30 於 伏見区役所

第3回 「市民が考える
望ましい伏見区総合庁舎」
平成17年1月15日(土)
14:00~16:30 於 伏見区役所

事務局による提案書の取りまとめ

第4回 「提案書を見直そう」
平成17年2月6日(日)
14:00~16:30 於 伏見区役所

ワークショップってなんだろう？(コーディネーター:谷口先生)

ワークショップの語源は職人や芸術家の共同工房のことです。

まちづくりの場面では、参加者が同等の立場で知恵や創意を出し合い、協働を通して「もの」や「こと」を創造していく活動や場を指します。

ワークショップのルールってあるの(コーディネーター:谷口先生)

皆さんの発言に耳を傾けましょう。(聞き上手)
発言は1~2分程度にしましょう。(話し上手)
自分とは異なる考えを理解しましょう。

(相互理解)

肩書きをはずし、一人ひとり同等の立場で話しあいましょう。

付せん紙記入のルール

- ・1枚につき1つの項目を記入しましょう。
- ・名前を記入しましょう。

第1回ワークショップ「伏見らしさってなんだろう？」

プログラム

1. 開会の挨拶
2. 事務局・コーディネーターの紹介
3. 事業概要等の説明
4. ワークショップの目的・目標などの説明
5. 他己紹介・グループディスカッション
6. グループ発表
7. 閉会

ワークショップの目標

1. 「伏見」への「思い」をみんなで共有します。
伏見区のいいところ、悪いところ、
好きなところ、きれいなところ
2. ワークショップの仕方、進め方を学びます。

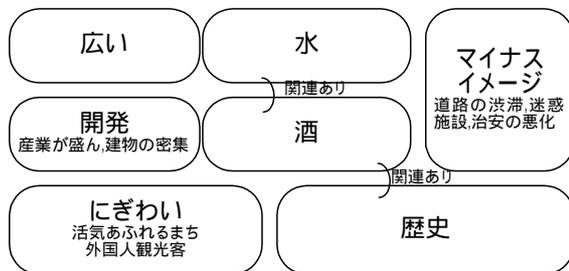
ワークショップの流れ

- 第1回ワークショップは、11月27日(土)午後2時から伏見区役所において45名(市民39名、ダブルコーディネーター6名)の参加を得て実施しました。
- 水田伏見区長からの開会の挨拶の後、コーディネーターの谷口知弘先生(立命館大学経営学部助教授)の紹介が行われました。区政改革や伏見区基本計画などについての概要説明の後、谷口先生からはワークショップのルールについて説明がありました。
- ワークショップでは、A~Fの6グループに別れ、グループ毎に他己紹介を行い、付せん紙に「伏見らしさ」を記入し、コーディネーターが中心となり模造紙にまとめ発表を行いました。
- 最後に谷口先生より講評をいただき、この日のまとめを行いました。

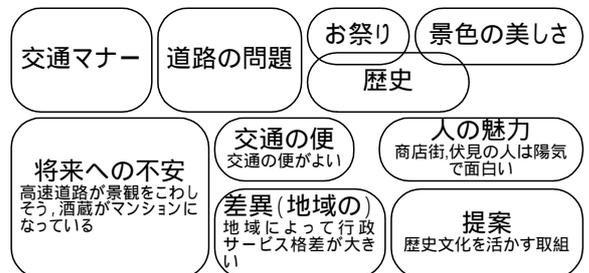


みんなで考えた「伏見らしさ」(グループディスカッション)

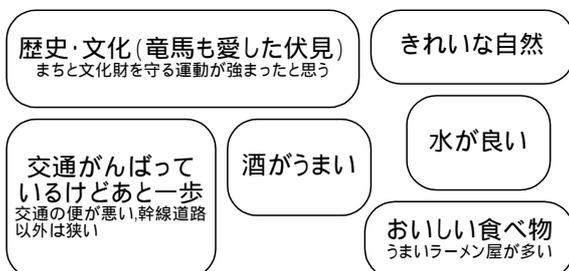
Aグループ：潤いと歴史あふれるにぎわいのまち伏見



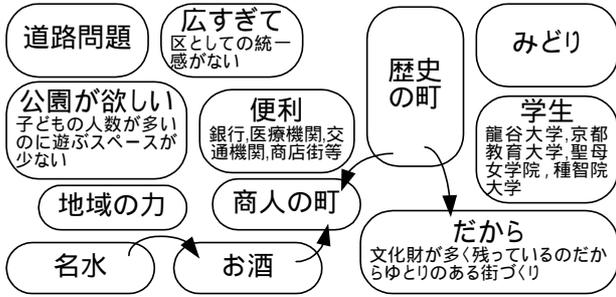
Bグループ：広くて・いろいろあるけど！にぎやかな伏見



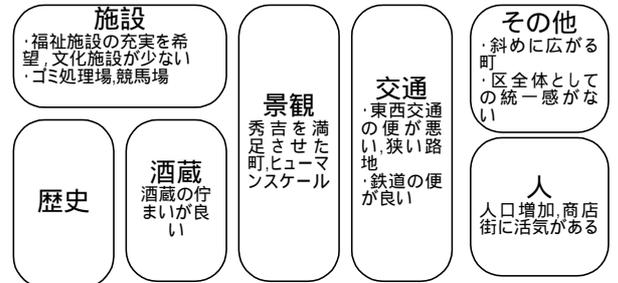
Cグループ：次世代へ残したいわがまち伏見 ときどき



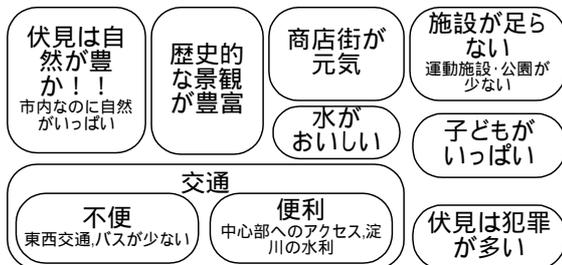
Dグループ：歴史の町伏見 便利さと不便さの背中あわせをなくそう！！



Eグループ：元気の出る街 伏見

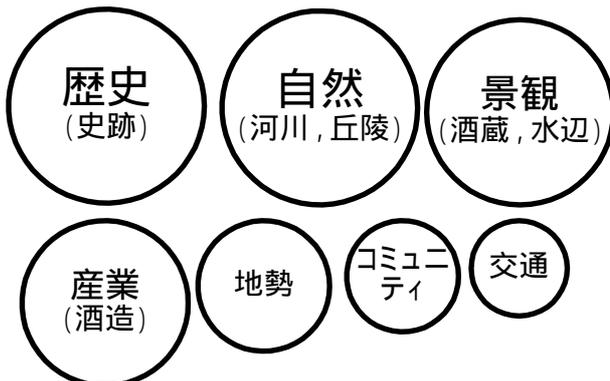


Fグループ（仲よし7人組）：京都のようで京都でない 伏見は伏見！



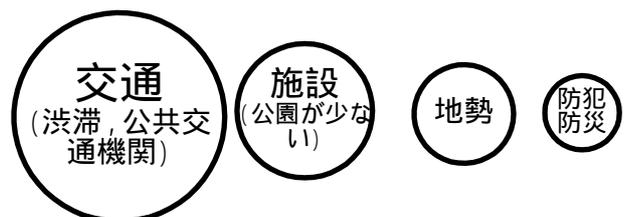
ワークショップのとりまとめ「みんなで共有した伏見区への思い」

伏見区の良いところ・好きなところ



- 伏見区の良いところ・好きなところとしては、史跡などの歴史、河川や丘陵などの自然、酒蔵をはじめとする趣のある景観が多い結果となりました。
- 次いで多い産業では、酒造はもちろんのこと、商店街の賑やかな雰囲気が好ましいとの意見があります。
- また、人口の増加、子どもの数が増えていることも伏見区の将来に明るいイメージを増やしています。

伏見区の悪いところ・きらいなところ



- 伏見区の悪いところ・きらいなところとしては、道路が狭く渋滞しやすい、公共交通機関が不便など交通に関わる事項が上げられています。
- 一方、公共交通機関が便利との意見もあり、伏見区の広さや多様性が垣間見られます。
- 施設に関しては、子どもの数が増えていることから、安心して遊ぶことができる公園の数が少ないとの意見が多く出ています。

第1回ワークショップのここが良かった・悪かった（ご意見・ご感想）

ワークショップ終了後に付せん紙に書いて頂いた意見や感想をご紹介します。至らなかった点は、次回、改善したいと思います。

<ここが良かった>

- ・ いろいろな人と知り合いになれて楽しかった。
- ・ 参加者の拍手が、開会時と閉会時ではるかに違ったのは今回の成果。
- ・ 普段考えることのない伏見について深く考えることができた。
- ・ 他の人の考えも聞いたのでぜひ2回目も参加したいと思いました。

<ここが悪かった・改善すべき>

- ・ 概要や区政の話が時間の都合もあって矢継ぎ早だったので分かりにくかったように思いました。
- ・ もっと参加者が話す時間があってもよいと思う。
次回からは限られた時間ではありますが、見学やテーブルでの話し合いの時間をなるべく増やすことができるようスケジュールを調整します。
- ・ 説明の時の画面が小さかったです。資料をつけてもらえれば小さな字の画面も可かな？
画面に文字を写す際は、できるだけ大きな文字と見やすい色づかいを心がけたいと思います。

**数々の貴重なご意見・ご感想をありがとうございました。
次回ワークショップもご期待下さい。**

次回、第2回ワークショップは・・・

第2回ワークショップ

「今の区役所ここがよい・ここが気になる」

平成16年12月12日（日）

14：00～於 伏見区役所

コーディネーター：谷口知弘氏（立命館大学助教授）

実施概要

- 第2回ワークショップでは、区役所1階、2階の各課をはじめとして、保健所、福祉事務所、青少年活動センターを訪問して、担当職員から日頃の業務内容について説明します。
- 参加者の皆さんにはコーディネーターとともに、現区役所等での業務内容や雰囲気などについて「よいところ」や「気になるところ」を利用者の立場や職員になったつもりで考えて、当日配布する付せん紙に記入していただきます。
- 付せん紙を「よいところ」と「気になるところ」の二つに分け、視察の際に記入していただきます。
- テーブルではコーディネーターを中心に話し合いながら模造紙にまとめ、「よいところは」伸ばし、「気になるところ」は改善した総合庁舎になるようキャッチフレーズを考えます。
- 第2回ワークショップの成果は、第3回ワークショップにつながり、全4回のワークショップの成果として、「市民が考える望ましい伏見区総合庁舎提案書」を取りまとめていきます。

スケジュール

1. 開会の挨拶
2. 第1回ワークショップのおさらい
3. 自己紹介
4. 庁舎・施設の視察
5. グループディスカッション
6. グループ発表
7. 閉会（終了予定16:30頃）

**前回ご参加いただけなかった皆さんも参加いただけます。
皆さんのご参加をお待ちしております。**